

株式会社かほく・上品の郷

- (1) 情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）
- (2) 情報公開シートⅡ（財務諸表等）
- (3) 情報公開シートⅡ補足資料
- (4) 市が期待する役割、市意見等

第三セクター情報公開シート I（PDCAサイクルシート）

1 作成年月日・市所管部署

作成年月日	令和 8 年 5 月 29 日	市所管部署	石巻市 河北総合支所地域振興課
-------	-----------------	-------	-----------------

2 法人名称等

法人名称	株式会社 かほく・上品の郷	設立目的・経過 道の駅「上品の郷」の維持管理及び運営の受諾を行うことを目的とする。平成17年3月旧河北町の指定管理者に指定。管理に関する協定書締結。平成18年4月石巻市の指定管理者に指定。管理に関する協定締結。
法人所在地	石巻市 小船越字二子北下1番地1	
設立年月日	平成 16 年 10 月 22 日	
代表者職・氏名	代表取締役 佐々木 正文	

3 定款上の事業内容

(1) 石巻市及び地方公共団体が設置する施設（道の駅）の維持管理及び運営の受諾業務
(2) 書籍・日用品・食料品・たばこ・酒類・農林水産物の販売事業
(3) 食堂施設の経営事業
(4) その他前各号に付帯する一切の業務
(5)

4 出資・出捐の状況

資本金・基本財産 総額	石巻市 出資・出捐額	石巻市 出資・出捐割合	市以外の 出資・出捐者	市以外の者の 出資・出捐額	市以外の者の 出資・出捐割合
50,450 千円	45,000 千円	89.2 %	個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %
			個人	100 千円	0.2 %

※出資額が多い順に上位3者（個人は「個人」と表記）を記載

5 役員・職員の状況

(1) 役員の状況

	R5期末	R6期末	R7期末
常勤	1	1	1
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	1	1	1
非常勤	6	6	7
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	2	2	3
計	7	7	8
うち市職員	1	1	1
うち市退職者	3	3	4

(2) 職員の状況

	R5期末	R6期末	R7期末
常勤	14	14	14
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
非常勤	30	29	30
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0
計	44	43	44
うち市職員	0	0	0
うち市退職者	0	0	0

※市職員（及び市退職者）とは、市の常勤の特別職及び一般職の者（及びそれらの職にあった者）で、法人の役職員に就任している者をいう。

6 経営理念・方針

・お客様に対するサービスを最大限に心がけ、経営の合理化を図り、地域に貢献できる企業として成長する。
・全国の皆様から愛され、親しまれ、また行ってみたいと思われる施設として、地域活性化に貢献する。

第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）

7 中期的な経営目標・事業計画

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
純売上高	千円	目標計画	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000	1,000,000
		実績	1,058,834	1,082,720			
目標・指標の説明			法人売上高に法人以外の売上高（農産物直売所出品者の売上等）を加えた、道の駅全体の売上高である純売上高を指標とし、目標として年間10億円を設定。				
目標未達の場合の要因分析							

目標項目・指標	単位		令和6年度期	令和7年度期	令和8年度期	令和9年度期	令和10年度期
		目標計画					
		実績					
目標・指標の説明							
目標未達の場合の要因分析							

8 主要事業の成果、課題

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
「道の駅」管理運営	お客様からの要望が多かった駐車場の整備を行った。 また、地域の特産品を生かしたり、イベントや、5年ぶりとなる創業祭、感謝祭を実施し、市内、県内、県外の道の駅やイベントへの出品、出店も行い、地域のPRや来客者増に努めた。	新型コロナウイルス感染症が5類に移行となつてから3年が経過し、観光・経済活動も活発となり、道の駅を取りまく環境にも好影響を与え、観光活性化が進んでいる。 厳しい情勢は続くものの「お客様第一の精神」を貫き運営を行っていききたい。	施設内の老朽化した設備の修理、店舗施設の修繕を行い、集客力向上に努めた。
事業の公共性、公益性	地域住民の交流の場として、地元生産者が生産した農産物、海産物の販売の場としても地域経済の活性に貢献しています。また、三陸自動車道の利用者の休憩場所、観光客の目的地、情報提供の場所として重要な場所になっています。		

事業名称	前期の事業成果	自己評価・事業課題	前々期の課題への取組成果
事業の公共性、公益性			

9 市が期待する役割、市意見等（担当部署記載）

※各情報公開シートの個別項目毎及び決算全体の所感について、別紙様式に記載ください。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

団体名称	株式会社 かほく・上品の郷
------	---------------

1 財務諸表（金額単位：円）

貸借対照表（B／S）	借方（科目）	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	流動資産	174,308,213	166,551,156	▲ 7,757,057	174,070,069	7,518,913
	うち 現金・預金	147,457,753	135,817,691	▲ 11,640,062	135,426,135	▲ 391,556
	固定資産	16,803,022	22,914,565	6,111,543	29,064,146	6,149,581
	有形固定資産	9,723,254	14,833,406	5,110,152	20,003,966	5,170,560
	無形固定資産	401,600	901,600	500,000	1,518,200	616,600
	投資その他の資産	6,678,168	7,179,559	501,391	7,541,980	362,421
	資産の合計	191,111,235	189,465,721	▲ 1,645,514	203,134,215	13,668,494
	貸方（科目）	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	流動負債	81,985,628	79,436,468	▲ 2,549,160	88,123,910	8,687,442
	うち 短期借入金			0		0
	固定負債	8,181,069	11,032,718	2,851,649	14,701,358	3,668,640
	うち 長期借入金	1,140,000	0	▲ 1,140,000		0
	負債合計	90,166,697	90,469,186	302,489	102,825,268	12,356,082
	純資産	100,944,538	98,996,535	▲ 1,948,003	100,308,947	1,312,412
	うち 資本金	50,450,000	50,450,000	0	50,450,000	0
	うち 資本剰余金			0		0
	うち 利益剰余金	50,994,538	49,096,535	▲ 1,898,003	50,408,947	1,312,412
	うち その他	▲ 500,000	▲ 550,000	▲ 50,000	▲ 550,000	0
	負債・純資産の部合計	191,111,235	189,465,721	▲ 1,645,514	203,134,215	13,668,494

損益計算書（P/L）	科目	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	売上高	320,343,973	344,777,152	24,433,179	366,792,288	22,015,136
	売上原価	64,852,949	68,145,884	3,292,935	78,066,854	9,920,970
	売上利益	255,491,024	276,631,268	21,140,244	288,725,434	12,094,166
	販売費・一般管理費	259,262,130	278,826,274	19,564,144	290,543,080	11,716,806
	営業利益	▲ 3,771,106	▲ 2,195,006	1,576,100	▲ 1,817,646	377,360
	営業外収益	7,062,874	5,978,498	▲ 1,084,376	5,195,190	▲ 783,308
	営業外費用	1,385,987	1,473,294	87,307	1,835,151	361,857
	経常利益	1,905,781	2,310,198	404,417	1,542,393	▲ 767,805
	特別利益	3,600,000	0	▲ 3,600,000	0	0
	特別損失	3,021,094	3,995,300	974,206	0	▲ 3,995,300
	税引前当期純利益	2,484,687	▲ 1,685,102	▲ 4,169,789	1,542,393	3,227,495
	法人税等	188,452	212,901	24,449	229,981	17,080
	当期純利益	2,296,235	▲ 1,898,003	▲ 4,194,238	1,312,412	3,210,415

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）

キャッシュフロー計算書（C/S）	区分	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
	営業活動によるキャッシュフロー	5,877,676	▲ 6,952,178	▲ 12,829,854	8,626,566	15,578,744
	税引前当期純利益	2,484,687	▲ 1,685,102	▲ 4,169,789	1,542,393	3,227,495
	引当金の増減額	▲ 2,189,423	▲ 2,200,268	▲ 10,845	3,216,962	5,417,230
	受取利息及び受取配当金	▲ 17,299	▲ 45,957	▲ 28,658	▲ 157,052	▲ 111,095
	営業活動に係る資産及び負債の増減	5,796,618	▲ 2,870,969	▲ 8,667,587	4,097,192	6,968,161
	利息及び配当金の受取額	17,299	45,957	28,658	157,052	111,095
	利息等の支払額	▲ 25,754	▲ 2,938	22,816	0	2,938
	法人税等の支払額	▲ 188,452	▲ 192,901	▲ 4,449	▲ 229,981	▲ 37,080
	投資活動によるキャッシュフロー	▲ 41,684,205	▲ 8,446,113	33,238,092	▲ 14,658,808	▲ 6,212,695
	有価証券の増減額	▲ 12,000	▲ 13,000	▲ 1,000	▲ 14,000	▲ 1,000
	有形固定資産等の増減額	▲ 5,527,950	▲ 7,957,256	▲ 2,429,306	▲ 9,004,122	▲ 1,046,866
	投資有価証券の増減額	▲ 35,430,255	▲ 400,857	35,029,398	▲ 5,640,686	▲ 5,239,829
	貸付金の増減額			0		0
	その他の固定資産等の増減額	▲ 714,000	▲ 75,000	639,000	0	75,000
				0		0
				0		0
	財務活動によるキャッシュフロー	▲ 2,616,000	▲ 1,190,000	1,426,000	0	1,190,000
	短期借入金			0		0
	ファイナンス・リース債権等の増減額			0		0
	長期借入金の増減額	▲ 2,616,000	▲ 1,140,000	1,476,000	0	1,140,000
	資本金等の増減額			0		0
	配当金の支払額			0		0
	その他固定資産等の増減額	0	▲ 50,000	▲ 50,000	0	50,000
				0		0
	現金及び現金同等物に係る換算差額			0		0
	現金及び現金同等物の増減額	▲ 38,422,529	▲ 16,588,291	21,834,238	▲ 6,032,242	10,556,049
	現金及び現金同等物期首残高	135,426,855	97,004,326	▲ 38,422,529	80,416,035	▲ 16,588,291
	現金及び現金同等物期末残高	97,004,326	80,416,035	▲ 16,588,291	74,383,793	▲ 6,032,242

（※1）負の数の場合は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

（※2）支出は、マイナス記号（－）を付けて入力すること。

2 市による財政・金融支援等（金額単位：円）

区分	令和5年度期	令和6年度期	前期増減	令和7年度期	前期増減
補助金（交付金・助成金・負担金）	0	0	0	0	0
事業費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
管理費補助金（交付金・助成金・負担金）			0		0
委託料及び指定管理料	16,000,000	12,000,000	▲ 4,000,000	16,000,000	4,000,000
借入金（期末残高）	0	0	0	0	0
短期借入金			0		0
長期借入金			0		0
出資・出捐（期末時）	45,000,000	45,000,000	0	45,000,000	0
債務保証額（期末残高）			0		0
損失補償額（期末残高）			0		0
その他の財政支援・優遇措置（税、使用料、手数料の減免等）			0		0
			0		0
			0		0

※行については、適宜、追加・削除、区分修正可。ただし、設定した計算式に影響を与えないこと。
※財務諸表を添付すること。

情報公開シートⅡ補足資料

法人名：株式会社 かほく・上品の郷

1 貸借対照表に関する補足

(1) 総括分析

流動資産の7,519千円の増加は、キャッシュレス決済等の利用増加に伴い、売掛金等が増加したことによるものです。
固定資産の6,150千円の増加は、蛇口用節水装置、保養施設券売機、パソコンなどのリース資産の取得に伴い、有形固定資産が増加したことによるものです。
流動負債の8,687千円の増加は、令和7年3月分の出荷者販売額に係る事業預り金が前年度と比較して増加したことによるものです。
「自己資本比率」は49.3パーセントです。(当期49.3%、前期52.2%、前々期52.8%)
施設内設備の更新に伴い、総資産が前期比107.2%に増加しており、自己資本比率は前年度と比較して低下しています。一方で、純資産は前期比101.3%となっており、一定の財務基盤は維持されていると考えられます。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
流動資産		7,518,913円増	未収入金（キャッシュレス決済、商品券利用）の増
固定資産	有形固定資産	5,170,560円増	蛇口用節水装置、保養施設券売機、パソコン等のリース資産による増
流動負債		8,687,442円増	令和7年3月分の出荷者販売額に係る事業預り金の増

2 損益計算書又は正味財産増減計算書に関する補足

(1) 総括分析

令和6年度の直売所と温泉保養施設利用者数の合計641,648人に対し、令和7年度は638,242人で3,406人の減となった一方、施設全体の売上高は前年度より22,015千円の増額となりました。
電力費の高騰がありつつも、電力費の抑制のため、前期に施設照明のLED化を進めたほか、こまめな施設内の節電に努めました。
また、東北電力のご協力のもと電力費の削減を実現しました。しかし、今後さらなる電力費の高騰が懸念されるため、よりいっそう経費の削減などの努力が必要となる事が予想されます。
さらに、キャッシュレス決済を利用するお客様の割合も増加しているため、支払手数料の費用も増加しています。
以上の結果、最終的な純利益は、1,312千円となりました。
令和8年度も売上高を伸ばしながら引き続き経費削減などに努めてまいります。

(2) 前年度から数値が変動した科目及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
売上高		22,015,136円増	開業20周年記念の創業祭、感謝祭等の実施による増
販売費・一般管理費		11,716,806円増	キャッシュレス決済による支払手数料等の増

情報公開シートⅡ補足資料

3 キャッシュフロー計算書に関する補足

(1) 総括分析

新型コロナウイルス感染症が5類に移行となってから3年が経過し、観光・経済活動も活発となり、道の駅を取りまく環境にも好影響を与え、観光活性化へと繋がっています。

支出面においては、電力費の抑制のため、施設照明のLED化を進め、こまめな施設内の節電に努めたほか、東北電力のご協力のもと電力費の削減を実現し、最終的な経常利益は、1,542千円となりました。

現在の人手不足による人件費増加、石油関連の物価高やキャッシュレス決裁手数料の増加など、今後その対策が必要と考えています。

設備投資に関してはリース取引により短期での支出を抑えております。

今後も事業を行っていく上で資金繰りを含め、売上及び利益をいかに確保していくか、留意する必要があります。

(2) 数値が変動した区分及びその要因

項 目		変動内容	変動要因
営業活動によるキャッシュフロー	営業活動に係る資産及び負債の増減	6,968,161円増	令和7年3月分の出荷者販売額に係る事業預り金の増
投資活動によるキャッシュフロー	投資有価証券の増減額	5,239,829円減	普通預金から定期預金へ資金移動を行ったことによる減

4 市による財政・金融支援等に関する補足

(1) 市からの補助金等の交付状況

補助金等の名称	補助金額(単位：円)	補助金の使途

(2) 市からの委託業務等（指定管理含む）の状況

委託業務の名称	委託料(単位：円)	委託業務の内容
道の駅「上品の郷」指定管理業務	16,000,000	指定管理業務

(3) 税、使用料、手数料等の減免の状況

減免されている税目等名称	減免額(単位：円)	減免理由

市が期待する役割・市意見等（別紙）

法人名：株式会社 かほく・上品の郷

担当部署名：河北総合支所 地域振興課

1 第三セクター情報公開シートⅠ（PDCAサイクルシート）に対する意見

（１）中間的な経営目的・事業計画

例年、道の駅では中期的な経営目標・事業計画の目標計画として、純売上高1,000,000千円としているが、今年度は1,082,720千円で目標額を達成することができ、令和6年度に比べ23,886千円の増となっている。

今後も引き続き、様々な形で利用客を呼び込めるような魅力的な対策を講じ、地域の活性化に貢献することを期待する。

（２）主要事業の成果、課題

創業祭を始めとした各種イベントの開催、マスコミ、SNS、ホームページ等での宣伝を積極的に展開した事により、売上の増加に繋がっているものと考えられる。

一方で施設利用者件数は前年度より減少していることから、利益増を目標とした経営のスリム化と経費の削減を図りつつ、施設利用者件数増に資する取組を強化されることを期待する。

2 第三セクター情報公開シートⅡ（財務諸表）に対する意見

（１）貸借対照表

会社の財務面の安全性を表す経営指標の一つである「自己資本比率」が49.3%であり、一定の財務基盤が確保されているものと認められる。

また、短期的な支払能力を示す「流動比率」が197.5%、固定資産をどの程度自己資本で賄っているかを示す「固定比率」が28.9%となっており、いずれも良好な水準である。

引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただくことを期待する。

(2) 損益計算書又は正味財産増減計算書

法人の事業による収益性を示す「営業利益率」が-0.4%、資産からどれだけの利益を生み出したかを示す「総資産経常利益率」が0.7%、資産がどの程度売上を生み出しているかを示す「総資産回転率」が1.8回となった。

「営業利益率」がマイナスとなっているが、前年度と比較して改善されており、売上高も増加しているほか、「総資産経常利益率」は前年度と比較して低下しているものの、経常利益及び当期純利益が黒字を確保していることから、直ちに経営上の問題があるものではないと考えられる。

引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な運営及び事業実施に努めていただくことを期待する。

(3) キャッシュフロー計算書

令和7年度のキャッシュ・フローについては、事業活動によるキャッシュ・フローが増となっている一方、投資活動によるキャッシュ・フローは減となった。

投資活動によるキャッシュ・フローが減となった主な要因は、施設設備の更新等に伴う有形固定資産等の取得及び投資有価証券の取得によるものであり、事業継続及び施設機能の維持向上に向けた計画的な投資によるものと考えられる。

また、一定の現金及び現金同等物期末残高を有しており、直ちに資金繰り上の問題が生じている状況ではないものと認められることから、引き続き、資金収支の状況を注視しながら、経営改善に向けた効率的な運営に努められたい。

(4) 市による財政・金融支援等

指定管理料として16,000千円を支出したが、引き続き、健全な財政運営のため効果的・効率的な経営に努めていただくことを期待する。

3 法人に対し市が期待する役割等（担当部署所感）

国際的な原材料価格や原油価格の高騰の影響等により、今後も厳しい状況が続くことが見込まれるが、道路利用者や地域住民等の交流の拠点施設として、利用しやすく、より一層親しまれるよう、サービスの向上及び運営の効率化に努めていくことを期待する。